

## たこ 凧あげ大会で交流

鷹島肥前大橋開通記念西九州凧あげ大会（鷹島モンゴル村主催）が5月17日、鷹島モンゴル村で開催されました。

この日は、市内の親子のほか福岡市などから愛好家約100人が参加。福岡凧の会会員などの指導を受けながら凧作りや

凧上げをしたり、持ち寄った各地の伝統の凧などの凧あげの模範演技を見学しました。



## 伊万里市と松浦市が共同物産展を開催

「伊万里・松浦どっちもうまか祭」（環・伊万里湾核都市研究会主催）が5月16日と17日の2日間、鷹島肥前大橋横の道の駅「鷹ら島<sup>たかじま</sup>」で開催されました。

佐賀県伊万里市と松浦市は、共通の戦略マーケットとしている福岡圏域へ特産物を売り込むために、昨年、一昨年と福岡市内において共同物産展を開催。3回目となる今年度は「鷹島肥前大橋開通」という話題性により福岡都市圏から多くの観光客が見込まれることから道の駅「鷹ら島<sup>たかじま</sup>」で開催したものです。

本市からはトラフグのから揚げや旬あじ寿司、キンショーメロンなど約30品目を販売。市内外から多くの人が道の駅を訪れ、両市の特産品などを買い求めていました。

## 災害危険箇所などを視察

梅雨時期を前に、消防団、消防署、警察署、市などの防災関係者が6月1日、市内の災害危険箇所や災害復旧箇所を視察しました。

今年は急傾斜（鷹島町橋詰地区）、地すべり（鷹島町日比地区、殿ノ浦地区）の3箇所を視察。参加した防災関係者約40人は、それぞれの現場の災害対策工などを念入りに踏査しました。



# まちの話題



## ふるさとの川にニシキゴイを放流

本市志佐町でコイ養殖業を営む吉山康幸さん（志佐・池成、61）が6月3日、同町内の浦川にニシキゴイを放流しました。

吉山さんは、下水道が供用開始になり、水がきれいになった同川を大切にすることが大切にする気持ちを広めようと放流を計画。同町浦免と里免の境に架かる里橋の近くで、長さ20センチほどに育てたニシキゴイ250匹を放流しました。

吉山さんは「魚が住みやすい環境を保てるようにこの川を大切にしてほしいですね」と話しました。



## 市内各地で光の乱舞

5月下旬から6月中旬にかけて、市内各地で多くのホタルが飛び交いました。

特に御厨町木場地区を流れる木場川には、市内外から多くの人がホタルを見物に訪れました。



## 春作アールスメロン 出荷始まる

松浦メロン部会（末武茂善  
部会長、会員 20 人）の春作アールスメロンの出荷が  
5 月 29 日、星鹿町の牟田集荷所で始まりました。

本地域の春作アールスメロンの生産量は県内最大。  
同部会では御厨・星鹿を中心に約 3 畝でアールスメロン  
を栽培し、春作で約 70 トン以上の収量を見込んでいます。

末武部会長は「今年は 5 月の天候に恵まれたおかげ  
で糖度も 15 度以上と甘さも十分で玉太り・ネットの張  
りもよく、上々の出来のアールスメロンを出荷するこ  
とができています」と話しました。

市内では 6 月下旬から道の駅松浦海のふるさと館で  
も販売される予定です。



## 金子知事が本市の現場を視察

金子原二郎長崎県知事が 6 月 4 日、市内の農業や漁  
業の施設などを視察しました。

この視察は、知事が直接現地に足を運び、地域の実  
情把握と意見交換などを通して、今後の県の施策の立  
案や事業実施に役立てようと実施。知事は、西九州自  
動車道や青年農業者による耕作放棄地再生の現場、  
トマト生産圃場、クロマ  
グロ養殖施設などの視察  
を行い、市や関係機関の  
担当者から説明を受けたり、生産者などと意見交  
換をしたりしました。



## 油火災想定訓練を実施

危険物施設事故想定訓練（松浦地区消防組合消防本  
部、松浦地区危険物安全協会主催）が 6 月 9 日、中興  
化成工業で行われました。

同訓練は、6 月 7 日から 13 日までの危険物安全週間  
にあわせて毎年開催。危険物施設の火災を想定し、緊  
急連絡や応急対応などを訓練し、関係機関との連携保  
持などを目的としています。この日は、同工場の職員  
や地域の消防団など約 170 人が参加。地震により工場  
内屋外タンクに亀裂が生じ、火災が発生したことを想  
定し、訓練を行いました。



参加者たちは、通  
報から自衛消防隊に  
よる消火訓練、火傷負  
傷者の応急手当など  
の訓練を行いました。

## 東高生が苗木を寄贈

松浦東高（山口和秀校長）の生徒が 6 月 15 日、市  
役所に花の苗を寄贈し、市役所表玄関の花壇に苗を植  
えました。

寄贈したのはサルビア、マリーゴールドなど 3 種類  
約 920 株。食品科学科と商業科の選択科目である生物  
活用の授業で育て、地域  
貢献活動の一環で植栽し  
たものです。この日は、  
食品科学科の 3 年生 7 人  
が花壇に花の苗を植えま  
した。花は 10 月ごろま  
で楽しむことができます。



## 人権・同和に理解を深める

社会人権・同和教育推進懇談会（県・市、県・市教  
育委員会主催）が 6 月 3 日、生涯学習センターで開催  
されました。

同懇談会は、社会教育・学校教育で指導的な立場の人  
が一堂に会し、同和問題などの人権問題にかかわる諸  
問題の解決に向けた講義・協議などを通して、人権・  
同和教育支援のために開催されたものです。講義では  
部落開放同盟長崎連合会中村由一副支部長が自分の被  
ばく体験と被差別部落に対する差別体験を話し、「私が  
受けたような差別のない  
世の中になること願っ  
ています」と話しました。  
翌日には P T A の会員な  
どを対象にした研修会も  
開催され、人権・同和問  
題に理解を深めました。



## 市民に苗木を配布—九州電力・電源開発—

九州電力松浦発電所（中西章夫所長）と電源開発松  
浦火力発電所（西山千里所長）が 6 月 9 日、中央公園  
で苗木を配布しました。

環境月間の取り組みとして行われたもので、配られ  
た苗木はハナヤナギ、ベンジャミン、ディランタライ  
ムなど 6 種類、合計 400 鉢。法被姿の所員など約 20  
人が、配布開始を並んで待っていた多くの市民や公園  
近くを通行していた買い物客などに配布を始めると、  
苗木はあっという間になく  
なりました。

